

## 栃木放送平成 28 年度第 8 回 12 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 28 年 12 月 8 日 (木) 午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 4 名

欠席委員 5 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	河 又 弘 子
	委 員	荒 川 政 利
	委 員	平 野 博 章
局側出席者氏名	代表取締役社長	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也

### 4 議 題

(1) 「ちんたら ぞうさんぽ」について

(2) その他

### 5 議事内容

(1) 「ちんたら ぞうさんぽ」について

試聴番組：10 月 1 日 (土) と 11 月 12 日 (土) に放送した番組を  
予め試聴

議題説明：報道制作局長・高瀬が番組の概要について説明。  
次に審議に入る。

各委員からは、

○非常に素晴らしい。動物の専門的な話もありながら、パーソナリ  
ティの動物好きが伝わってくる。

○現場の記者があまり興奮しないで淡々とリポートしていたのが  
聴きやすかった。場所の説明をもっとわかるようにしてほしい

た。宇都宮市内の人はわかるのだろうが、それ以外の人にはわかりづらかったと思う。現場の人数が少ない割には頑張って報道していたと思う。

○速い報道で県民は喜んだと思う。取材先もよかった。取材先を明らかにした音声は信頼できる。連続テロが危惧されたが、そうではないことがわかった段階で素早く対応できればよかった。県民のために引き続き頑張ってほしい。

○できる限りのことはやったと思う。現場は騒然としていたので、もっと臨場感が出せるとよかった。アプリを使って情報をもらうとか電話を使って情報を集めるなどはできなかったか。テロの心配があったので、県の消防防災課などと連絡を取るなどしてもよかったのではないか。

○切迫感がもっとあってもよかった。速報性はラジオなので、何かあった時には期待しているが、体制的に心配なところもある。

○ニュースの言い回しが毎回同じなので、時間の経過とともに少し変えるとよかった。

○いざという時のために普段から訓練しておくことが大切だ。

○レポートに緊迫感がなかったように思う。大変なことが起きているということがもっとわかるとよかった。繰り返し放送するのはいい。

○現場のノイズがあるともっと雰囲気が出たのではないか。などの意見が出された。当社としてはこれらの意見を参考に今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

## (2) その他

平成 28 年度第 8 回 12 月期の審議会を 12 月 8 日（木）に開くことを決め、閉会した。

## 6 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。